こんにちは! 事務局です

《令和4年度予算・政策に関する要望を実施しました》

令和3年9月10日、滋賀県知事に対して、令和4年度予算編成に関する要望書を提出しました。

［要望事項］

1.看護職員の需給計画に基づき県内就業看護職員の確保や地域偏在を是正する看護職・看護補助者の確保推進を図られたい。
2.地域の感染対策に活躍できる感染管理認定看護師増員のために、県内で感染管理認定看護師養成機関を設置し開講されたい。
3.県下の看護職のキャリア支援のために、県として滋賀県立大学人間看護学部地域交流実践研究センターの役割発揮の充実を図られたい。
4.介護施設の看護職の実践力向上への支援を図られたい。
5.育児休業あけの看護・介護職がスムーズに就業できるように、地域の保育園に入園できる体制整備を図られたい。
6.保健医療計画に示されている周産期医療の4ブロック化の体制づくりにあたり、周産期医療を担う関係者会議を主宰されたい
7.県担当課に看護係の設置や母子に関する施策を総合的に対応できる組織体制の一層の充実を図られたい。

《理事会報告》

第3回理事会／令和3年9月18日(土)

Ⅰ あいさつ

Ⅱ 決議事項

1. 職能委員の変更について
　保健師職能委員　11月から産休に入ることによる委員の変更

Ⅲ 協議事項

1. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応などについての情報共有
　①軽症者ホテルの運営に係る看護師派遣調整について
　②ワクチン接種対応看護師に関する事
　③協会各種事業の推進に係る基本的な考え方について

Ⅳ 報告事項

1.【日本看護協会】
　2021年度災害支援ナース派遣調整合同訓練について
2. 重点事業の中間報告（進捗）について
3. 地区支部活動中間報告について
4. 令和4年度に向けた滋賀県知事等要望について
5. 役員の兼職状況について
6. 業務執行理事活動報告について

Ⅴ その他

1. 令和3年度第1回ワーク・ライフ・バランス研修会について
2. 女性のつどい参加者について

会員の声

▶コロナ禍の中、対面での研修は困難な状況ですが、皆さんの活動の記事を読ませていただき参考にさせていただいています。ナースレイクを通して皆さんと情報共有できたらと楽しみに読ませていただいています。（C.H）

▶コロナ禍で人と人との距離が遠い中、このナースレイクで滋賀県の看護職員がひとつになれる!今回、そんなナースレイクの価値に気づけました。（H.O）

編集後記

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、改めてスポーツの素晴らしさを感じることができた夏でしたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？ コロナ禍で外に出る機会も減りましたが、スポーツの秋を満喫できる日常に早く戻れることを願っております。（N.I）

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声（ご意見・ご感想）」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック！（次回発刊は1月中旬予定です）

広報紙「ナースレーク」
Nurse Lake
Vol.152
2021年10月
公益社団法人 滋賀県看護協会

表紙写真：八幡山城跡の山頂展望館（撮影：甲賀市 K.Sさん）

CONTENTS

《一番星見つけた!》
　新型コロナワクチン接種の現場から……2〜3
地区支部だより……4〜5
Voice／《活動報告》看護師職能Ⅱ委員会……6
《委員会 活動報告》認定看護管理者教育運営委員会……7
訪問看護支援センターだより……7
働き続けられる職場環境づくりの推進……8
滋賀県看護協会からの入会のお知らせ……9
ナースセンターだより／はたさぽ通信……10〜11
こんにちは! 事務局です／会員の声／編集後記……12

発　行　所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 廣原惠子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468　FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/
滋賀県看護協会　検索
モバイルサイト

三方良し精神で 看護の力で
滋賀を元気に!
―住み慣れた地域で健康に暮らせるために―

滋賀県看護協会会員数（令和3年9月5日現在）

保健師/	327人	助産師/	297人	合計9,162人
看護師/	8,349人	准看護師/	189人	

一番星☆見つけた!

新型コロナウイルス感染症への各施設の取り組み

新型コロナワクチン個別接種の現場から

近江草津徳洲会病院

新型コロナワクチン個別接種・集団接種が始まり、早5か月が経過し滋賀県の２回接種の65歳以上高齢者割合は、90.8%（8月30日時点）と近畿で一番高く、また滋賀県の全人口で2回接種の割合は42.22%（8月29日時点）と近畿では４番目という現状です。

受診者は、初回接種時に緊張の面持ちで副反応の出現に不安を言葉にされ、接種後は副反応が出なかったことに安堵され笑顔で帰宅される方が多いです。またスムーズな進行に感謝の言葉をいただくことも多くあります。この現場の状況から新型コロナウイルスに対する世間のパンデミックに対する不安・恐怖の大きさを体感します。

新型コロナワクチンは1バイアル6人接種できますが、準備は予定の人数で午前から始めます。しかし6の倍数の予定者数でなかったり、急なキャンセルが発生しワクチンが数本余ることが毎日あります。近隣住民の方や医療関係者をあらかじめ候補者としてリストアップし、1本も無駄にせず接種しています。その調整と接種時間の延長で労力は増えますが、一人でも多くの方に1日も早く接種していただきたい思いでスタッフ一同、日々努めています。

普通の日常生活がどれだけ幸せだったのか実感し、通常の社会生活が1日も早く戻ることを切に願います。

近江草津徳洲会病院

びわこ学園医療福祉センター草津

新型コロナウイルス 施設での感染対策

びわこ学園医療福祉センター草津

当法人の理念「ふつうの生活を社会の中で」がコロナ禍になってから、ふつうに外出や面会が出来なくなって1年半。施設内に感染を持ち込まない、拡げない取り組みは利用者をはじめ、家族・職員にも様々な我慢を強いることになりました。

職員には感染対策について、限られた資源の中で様々な協力をお願いしました。特に注意したのは人との接触と3密を避けることでした。

入所されている利用者は身体上の特徴からマスクができません。そのため外部からの持ち込みを絶対に避けていく必要がありました。しかし、2020年の5月頃は衛生材料が手に入らず、マスクは3日に1枚の使用、フェイスシールドはラミネートで簡易シールドを作り、またエプロンは70ℓのゴミ袋で6000枚作成し、換気の徹底やドアノブやパソコン、医療機器の消毒などを徹底しました。

個々の職員は、1日2回の検温をはじめ、昼食時の黙食や更衣時のマスク着用、手指消毒の徹底など現在も感染対策を継続しています。クリアボードが手に入らない間は、農作業用のビニールシートと木枠で手作りしたり、休憩室やリハビリ課、医局などは部屋を分散したり感染対策を行いました。

また、当施設ではいち早く昨年4月にはオンラインでのリモート会議を行い、感染情報について県内の感染ステージに合わせて施設独自のロードマップを作成しました。外来や病棟、面会や実習などの制限レベルを決め、注意事項や衛生材料使用状況などの感染対策を委員会で確認した後は、施設内共有サーバーを活用しリアルタイムに発信しました。ただ、短期入所は昨年から病床をほぼ制限することなく受け入れを行っています。

一定のルールを決めた上で、適宜抗原検査やPCR検査をしながらの受け入れは時間もかかり大変ですが、在宅生活をされている利用者や家族にとって、少しでも長くふつうの生活を継続していただくために地域支援を止めることだけは避けたいと頑張っています。

7月には職員の2回目のワクチンも終了し、利用者や外来患者のワクチン接種も始まりました。長期入所者の外出や家族の面会はワクチン接種が終了すれば徐々に制限を解除したいと考えていますが、今はリモート面会や窓越し面会を実施し、家族との交流をしていただいています。

まだまだ予断は許さない感染状況ですが、今後は陽性者発症に踏まえ、ゾーニングや個人防護具の着脱教育など職員全体で継続して感染対策を行っていきたいと考えています。

～7地区活動報告～

地区支部だより

第1地区 支部

支部長 山元 ふみ子

令和３年度もコロナ禍の中、７月31日土曜日９時30分から12時までJCHO滋賀病院にて研修会を開催することができました。

まず、第一地区支部の主な活動紹介と新規役員の挨拶を行い、昨年できなかった看護協会の活動を説明することができました。その後、研修会として（前）滋賀医科大学医学部附属病院副院長兼看護部長、現滋賀県看護協会教育部の西村路子先生をお招きして『活き活きと働くために大切なこと』ー学びの工夫ーと題し、経験の浅い師長や副師長を対象に各施設から、32名ご参加いただきました。

西村先生の一語一語に、管理者としての基本姿勢やスタッフが活き活きと働ける職場にできる方法を学ぶことができました。また、あるべき姿として振り返る機会になりました。アンケートから、先生の大切にしておられる看護と管理者として想いが伝わり、活力が得られたと感想も頂きました。内容の濃い研修会となりました。

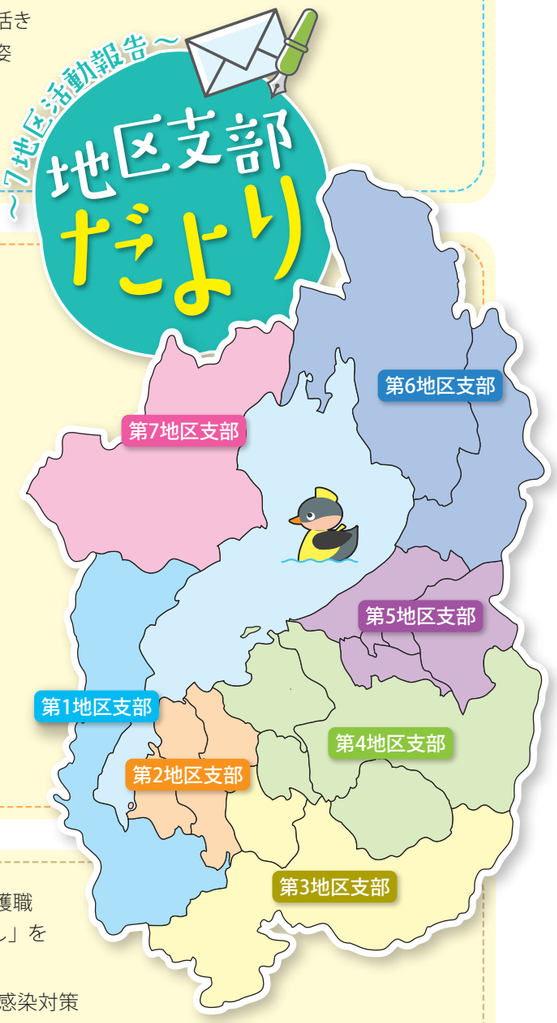
第2地区 支部

支部長 大塚 喜久江

第２地区支部は今年度、役員が３名変更になりスタートしました。昨年度は新型コロナウイルス感染の影響で、地区支部集会や研修会の一部が中止となり、今年度も６月に地区支部集会および研修会の開催はできたものの、９月に開催を予定していた研修会は中止となります。年度後半の研修会は開催できるように、準備を進めていきます。

また、昨年度から始めた認定看護師の出前講座は、小規模施設から「現場ですぐに活用できた」「普段、困っていることを学べた」等、好評を得ました。継続してほしいとの要望を受け、今年度も専門看護師・認定看護師の協力を得て、対応分野を広め、より多くの施設への要望に応えていけるよう計画を立てているところです。

第２地区支部内に勤務する看護職員同士が協力して、それぞれの役割を担い、県民へより良い看護を提供できるよう、皆さんの協力を得ながら活動していければと思います。



第3地区 支部

支部長 岡 和美

安心して永住できる選ばれる地域を目指して、看護職が団結してネットワーク構築に励んでいます。「暮らし」を支える寄り添う連携を目指します。

- **地区支部活動方針**／新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、看護活動を広める。
- **看護実践力の強化**／看護研究発表会を行い、看護の質向上に繋げます。心不全研修会は、9/16➡10/28延期とし会場とWebのハイブリッド形式に挑戦します。
- **地域包括ケアを支える看護の機能強化**／新型コロナウイルス感染症患者の急性期から回復期、在宅への連携を深めるために意見交換会や実践報告会を通して、看護職ネットワーク強化を目指します。
- **働き続きられる職場環境**／コロナ禍で多くのストレスを抱える職場で、人間関係を円滑にする。自分も相手も大切にするコミュニケーション研修を企画します。
- **組織強化**／地区支部協会員の中で情報が共有できるよう、支部だよりの発行を継続します。

今年度の地区支部活動についても、昨年同様に感染防止に最大の注意を払いながら、ネットワーク強化に努めていきます。

第4地区 支部

支部長 神 千草子

第４地区支部は、地域を支える看護職の定着と看護実践能力の向上を目指すとともに、東近江圏域の看護職ネットの活動を推進し、地域包括ケアシステム発展に向けた看護職の連携強化を図っています。

令和３年度は、地域包括ケアを推進するための看護の機能及び連携強化のための看護職ネットフォーラムの開催、働き続けられる職場環境づくり推進のための講演を予定し、いずれもオンラインでの開催が出来るよう準備を進めています。

昨年度より新型コロナウイルス感染症への対応に医療機関だけでなく、様々な現場や環境下で、大変なエネルギーを費やしてきました。しかし、未だに終息の見通しはたっておらず、これからも地域一丸となり新興感染症に立ち向かえる体制を構築していかなければなりません。今こそ「看護の力で東近江を元気に！」を合言葉に地域のニーズに沿った今の時代に求められる活動を運営できるようしていきたいと思います。

第5地区 支部

支部長 加藤　郁

第５地区支部は、「馴染みのある場所でその人らしく生活できる地域作り」を目指して活動しています。しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大している中では地区支部活動も中止や縮小が相次ぎ、どうしたものかと思案に暮れているのが現状です。

病院でも入院している患者さんとその家族（大切な人達）が、面会や外出・外泊で共に過ごすことは非常に困難なままであり、離れて暮らしている間に患者さんとその家族に微妙なすれ違いや思い込みが重なり関係性が変化してしまうことがあります。小さな不安の芽に気付き、芽が大きくなってしまう前に対応していくことが医療関係者に求められているのだと思います。

コロナ禍の中で可能な取り組みとして、今年度は「家庭で役立つ感染防止対策」について動画を作成する予定です。

第6地区 支部

支部長 脇坂 直隆

第６地区支部は、湖北圏域（長浜市、米原市）の病院、訪問看護、診療所、介護保険福祉施設、保健所、市町保健センター、看護学校等の看護職（会員約1,300人）に支えられています。

今年度も新型コロナウイルス感染症による緊急事態の中ですが、ピンチをチャンスに変えることや、何かを創造する機会になるよう努めていきたいと思います。当圏域には、平成26年度から多職種連携を目的に湖北圏域看護職連携会議を開催し、多職種との事例検討会を重ねてきました。平成30年度からは、湖北圏域看護ネットワーク推進会議も加わり、地域連携・顔の見える関係の強化に努めています。

今年度の活動計画には、感染対応研修会や看護管理者研修会、労働環境に関する研修会を予定しておりますが、感染症対策を講じながら運用していくことになると思います。会員の皆様の暖かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

第7地区 支部

支部長 末武 美里

保健、医療、福祉などで働く看護職が互いの役割を知り連携して地域包括ケアをめざすために、小さな支部のまとまりやすいという強みを生かして顔の見える関係を構築していきます。昨年と同様に、参加人数や開催時期、研修形式についてコロナ禍でもできる活動を行っていきます。

- **安心して働き続けられる職場環境づくりの推進**／市内の新人看護師を対象に新人リフレッシュ研修「感染予防」を開催します。
- **看護実践能力の強化**／事例検討会：面会制限中での退院支援を考えることをテーマに病院・訪問看護・ケアマネジャーから事例を紹介してもらいます。
- **地域包括ケアを支える看護の機能強化**／まちの保健室：医師会・保健師・看護師が集落に出向いて行う健康出前講座に同行し、健康相談を行います。
- **湖西圏域看護ネット**／診療所や介護施設の看護職との座談会の開催　ニュースレターを発行します。

Voice ―― これからの看護職に期待すること

滋賀県介護支援専門員連絡協議会 会長 **鈴木 則成** 氏

私たち介護支援専門員の仕事は常に看護師の皆さまと連携をすることで成り立っています。

先ずは、ご利用者さまの入退院時での連携です。ここでの連携をスムーズに行うためのツールとして滋賀県介護支援専門員連絡協議会では、「入院時情報提供書」と「退院に向けての聞き取りシート」を作成し、病院職員の皆さまと手を携え、ご利用者さまの退院後の生活を支えています。

次に、日常生活における訪問看護師の皆さまの働きです。ご家族にとって一番の心配は、ご利用者さまの健康、病気の再発です。訪問看護師の皆さまが関わっていただくことでご家族は本当に安心されます。

そして、ターミナル期における訪問看護師の皆さまの働きです。平成31年に滋賀県看護協会が中心となり、私たちと滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会の皆さまが協力して「看取りに関する支援の手引き『自分らしく生きることを支えるために』」を作成しましたが、ターミナル期における訪問看護師の皆さまの働きは、ご家族さまや私たち介護支援専門員にとって大変心強いものです。

鈴木 則成 氏

看護師の皆さまには私たち介護支援専門員の良きパートナーとして今後も連携していただくとともに、医師との連携が苦手な介護支援専門員にとって、医師とのパイプ役として連携の調整役や医療的な面での予後予測などを見立てるアドバイスをいただければと思います。

今後ともご協力よろしくお願いします。

職能委員会 活動報告

看護師職能Ⅱ委員会

委員長 谷口 佳栄

看護師職能Ⅱ委員会は、介護福祉施設、在宅、訪問看護、診療所など多岐にわたる看護の領域の看護師が集まり活動しています。

令和3年度は、令和2年度に活動してきたクリニカルラダーの活用や、新型コロナ感染症対策、リスクマネジメント、会員確保を活動の中心にしています。

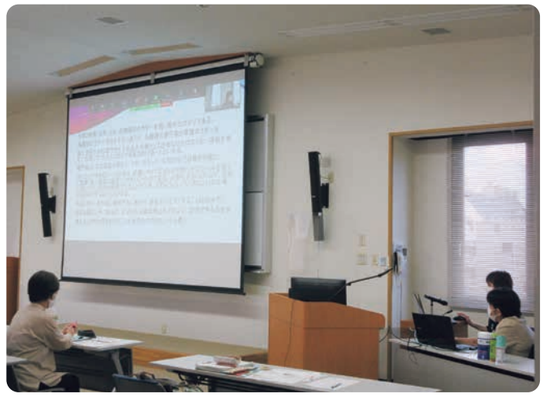
昨年度からのコロナ禍で、職能Ⅱ領域の研修や意見交換の場が少なくなっていますが、オンライン会議や職能Ⅱ通信を通じて発信していきます。

今年度、新しい委員3人を迎え、コロナ禍の中で新たに生じた課題を抽出していきたいと思います。

昨年度は、オンライン会議と会場で、リスクマネジメント研修を行いました。

今年度は、クリニカルラダーを活用、実践している施設の取り組みを学びます。

以前のように、「膝を突き合わせて」意見交換をすることは難しいですが、今できることを考え、看護師職能Ⅱ領域の看護師とつながり、活動を進めていけたらと思っています。



9月29日㈬ クリニカルラダーの活用についてのオンライン研修会

委員会 活動報告

認定看護管理者教育運営委員会

委員長 東 美香

滋賀県下における看護管理者の育成を目指し、①滋賀県における認定看護管理者育成に関すること、②滋賀県認定看護管理者教育・評価に関することを委員会で討議しています。

オンライン会議 認定看護管理者教育運営委員会

昨今の医療現場では、多様な背景を持つ患者・利用者などへの支援、治療・ケア内容も複雑かつ高度になりそれらへの対応、さらに働く職員に対しての細やかな配慮等、さまざまな支援や配慮が必要な現状があります。そのような中で、中間看護管理者の役割は、とても重要で、看護管理者の意識の違いで職場風土もかなり変化してきます。

このような状況をもとに、委員会では現場の看護管理者の状況を共有しながら、認定看護管理者教育課程の研修内容と研修の評価を討議しています。委員会の開催は年間3～4回程度です。委員会開催時は貴重な時間として、委員それぞれが看護管理者として経験したことをもとに話し合っています。

写真は、コロナ禍のためオンライン会議を行った場面です。集合できないのが残念ですが、これからの看護管理者が活き活きと楽しく看護管理が実践できる人たちとなるよう期待と希望を膨らませています。

訪問看護支援センターだより

専門分野別技術研修 「抱え上げない介護・排泄ケア」研修会

●日 時：令和3年8月4日㈬　●会 場：ニプロ株式会社 医療研修施設iMEP
●講 師：介護老人保健施設 ケアセンターささゆり 介護福祉士 山口路子氏 おむつフィッター１級、ノーリフト協会滋賀支部長、ナチュラルハートフルケアネットワーク（なちゅは滋賀リーダー）

腰痛を感じながらも訪問している訪問看護師の現状があり、痛みや身体への負担軽減、ケアの質向上を目指し「抱え上げない介護・排泄ケア」について学ぶ研修会を開催しました。

講義での学び

- 業務上腰痛件数が保健衛生の分野では増加傾向である
- 厚生労働省から「職場における腰痛予防対策指針」が出され、その対応が求められている
- 在宅においても利用者の状況に応じて、人の力による抱き上げや移動ではなく、リフトやスライディングシート等の福祉用具を活用し、介助者の負担軽減・腰痛予防に取り組むことが大切である
- 腰痛につながる不適切な姿勢を回避するため、ベッドの高さを調整する
- 中腰姿勢はできるだけ少なく、状況によっては膝をついてケアを行うこと等も必要である

演習での学び

- スライディングシートを用いての移動の介助方法
- 各種オムツの特徴・漏れずに心地の良いオムツの当て方等
- 実際にオムツの着用やシートを使って、ケアする側、される側双方の立場を体験し学んだ

受講者の感想

- 実際無茶な動きをしていることがある。今回の研修でスライディングシートや身体の正しい使い方を学ぶことができたので実践していく。
- どのような体勢を取ればいいか、何を使用すればいいか患者・看護師共に安楽な方法の大切さを学んだ。
- 実際に体験することで利用者さん目線で考えることにつながった。またおむつの当て方のポイントや腰痛予防をしながらのケア実践は忘れずに続けていきたい。

腰痛予防のための体の使い方等について学び、介護する側、される側双方が安心安全で、心地よいケア提供を目指していくことの必要性を学ぶ研修となりました。

スライディングシートを使った演習

【労働環境改善委員会】

働き続けられる **職場環境**づくりの推進

今年度も新型コロナウイルス感染が長期化し、私たちの働く職場環境は今まで以上に厳しいものとなりました。感染拡大がすすみ医療ニーズが高まっている今、私たち看護職が健康で安全に働き続けられる職場を創ることは急務となっています。

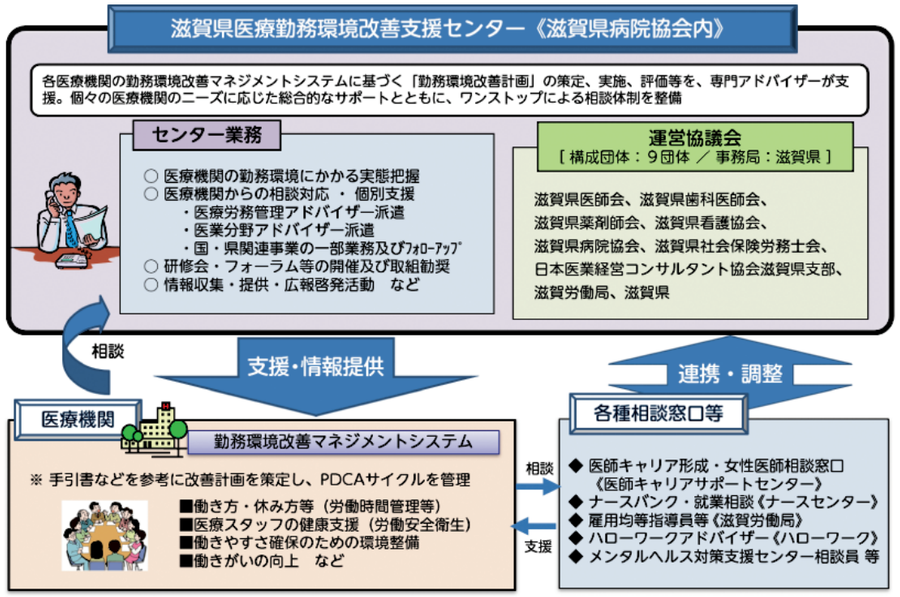
労働環境改善委員会では、以下の２点に取り組んでいますので、ご参加ご協力をよろしくお願いします。

❶「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」の活用推進に関すること
❷「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」の理解や周知、現場の課題検討に関すること

1 2021年10月13日(水) PM
患者から医療者に対する暴言・暴力・ハラスメントの対策
講師／公益社団法人 日本看護協会 参与　友納 理緒 氏（保健師・看護師・弁護士）
事例を交えての対策について学びを深めます。また、情報交換も行います。

2 2021年12月16日(木) PM
プラチナナース研修会
セカンドキャリアを考える機会となるように研修を企画します。今回は40歳代からの参加が可能です。

3 2022年２月開催予定
WLB・HWPに取り組んでいる施設にシンポジウム形式での報告



●滋賀県医療勤務環境改善支援センターをご存知ですか

医療従事者の勤務環境改善に資する各種相談対応窓口があります。上記のようなご相談に是非ご活用ください。

077-500-3106（専用）

あなたは、看護協会に入会していますか？

入会されていない方は是非ご入会ください。また、入会されている方は、入会の継続をお願いします。
※入会したつもりでも会費が未納の場合があるのでご注意ください。

入会するとこんな特典が！ 会員限定サービスがあります。

看護の今がわかる！最新の看護情勢・情報をキャッチ！
※日本看護協会ニュースのお届け（月１回）
※滋賀県看護協会の広報紙「Nurse Lake（ナースレーク）」のお届け（年４回）
※看護研修センターの図書室をご利用いただけます（日本看護協会や滋賀県看護協会図書の閲覧や貸出）

働くあなたをサポートします！

※働く環境の改善等、個人では達成できない問題の解決がはかれます
※弔慰金や見舞金をうけとることができます

医療事故への対応
※日本看護協会の「看護職賠償責任保険制度」に任意でご加入いただけます
※ 加入者は、日常看護業務上生じた医療安全にかかわる疑問や質問、トラブルや事故が発生した場合など、ご相談やご支援がうけられます　➡《お問い合わせ先》看護職賠償責任保険制度コールセンター TEL.0120-088-073

学会・研修は会員料金！
※多彩な研修や学会を会員料金で受講できます（非会員は2.5倍となります。例えば：会員価格2,200円で受講できる研修が非会員なら5,500円となります。）
※研修受講歴が登録でき、研修履歴を記憶していなくてもスマホで確認できます（キャリナース）

便利な会員専用ページ「キャリナース」が使えます！
検索してみてください
会員専用ページ キャリナース
※日本看護協会の資料室の資料にアクセスできます
※スマートフォンで電子会員証を表示できますので、カード携帯が不要になります
※会員情報の変更もパソコン・スマートフォンから手続きができます

施設割引等・会員限定の優待制度
※施設の利用：草津駅周辺ホテルの宿泊料金が特別料金 …等。詳しくは滋賀県看護協会HPをご覧ください。
※HPアドレス：http://shiga-kango.jp/ 「入会のご案内」⇒「 会員限定優待制度」

看護協会は、現場のさまざまな“困った”を解決するための活動をしています。

3つの使命

看護職の働く環境づくり、処遇改善、看護職確保、看護の質向上等の実現のためには会員の数が重要です。
全国の看護職が一丸となって取り組みましょう。

◎日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に、資格認定制度を運営しています。
※専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の3つの資格があります。
※「専門看護師」「認定看護師」「認定看護管理者」の3つの名称は日本看護協会の登録商標です。

入会のご案内
◆入会資格：保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があれば、どなたでも入会できます。
◆年 会 費：12,000 円（滋賀県看護協会費 7,000 円＋日本看護協会費 5,000 円の同時入会となります）
新規入会時は、入会金 5,000 円が必要です。再入会は、入会金不要です。
（但し、平成６年度以降の入会の方に限ります。滋賀県看護協会にご確認ください。）
入会登録完了後、勤務先またはご自宅に会員証や会員バッジ、機関紙などが届きます。

お問い合わせ先：滋賀県看護協会 077-564-6468

ナースセンターだより

新型コロナウイルスワクチン接種 サポートナースプロジェクトについて

5月12日に始まったプロジェクトは、672人という多くの登録者のご協力があり、市町や県の大規模接種会場で、ワクチン接種業務を担っていただいています。

接種業務についていただく前に、15回に分け264名の潜在看護職の皆様が研修を受講され、筋肉注射に自信をもって業務をしていただいています。

開催しました

看護職・看護補助者就職説明会

8月18日に今回は看護補助者も対象とした看護職・看護補助者就職説明会を米原で開催しました。61名の参加があり、施設のブースで熱心に説明を受けていました。

看護学生就業ガイダンス交流会

8月6日午後、県内の看護学生43名が参加されました。病院（急性期・慢性期）、介護福祉施設、訪問看護ステーションで勤務されている看護師、保健所で勤務されている保健師、病院勤務されている助産師と多様な職場で働く先輩看護職の話を聞き、貴重な情報を得て職業選択の幅が広がる機会となりました。

看護学校進学説明会

8月3日に看護学校連絡協議会と共催で、看護学校進学説明会を滋賀県看護研修センターで開催しました。104名の高校生、教員、社会人が、現役の学生や看護師の話や、学校の教員の話を聞いた後、保健師や助産師、看護師等のブースで活躍できる職場や仕事の内容の説明を受けました。

新人看護職員交流会

6月22日、23日、24日、7月8日、9日の5日間にわたり県内39施設（病院38、訪問看護ステーション1）の新人看護職員504名が参加され、同期と交流を深めることができました。悩みや頑張りを皆で共有し明日からも頑張ろうと、前向きになれる交流会でした。

開催します（今後の予定）

10月13日㈬…… ワーク・ライフ・バランス研修会
11月2日㈫・9日㈫、12月2日㈭…… 3年目看護職員研修会
12月16日㈭…… プラチナナース研修会
2022年1月予定…… リスタートナースサポート研修（滋賀県看護研修センター）
2022年2月予定…… 看護職就職フェア（クサツエストピアホテル）

リスタートナースサポート研修

受講生の声 Vol.11

もう一度現場で看護がしたい。その始め方を知ることができました。

I.Sさん

私は、初め総合病院に勤務し、その後は教育などで長年、臨床現場から離れていました。教育に携わって、後輩や学生が実践を通して人間的にも成長していく様子を見ることは、充実感があったのですが、同時に自分の実践を振り返るきっかけにもなりました。もう一度、現場に戻って患者さんと向き合って看護がしたい。ただ、もう病院勤務はかなり辛い。そういった気持ちが大きくなる中、訪問看護師さんから一人一人にしっかりと関われるという話を聞き、訪問看護に興味を持ちました。実践から離れて長く不安もあり、何から始めていいか分からず躊躇していましたが、リスタートナースサポート研修のことを知り参加しました。

研修では、摂食嚥下の看護、リハビリテーションなど、各スペシャリストの方から講義を受け、恥ずかしながら不安のあった知識や技術をアップデートできたことで気持ちが少し軽くなりました。また、訪問看護や介護施設など、様々な働き方や法令について知ることができ、働き方や就業までのイメージが持てました。学生であった頃は、訪問看護の実習もなく介護施設も今より少なかったので、世界が広がった思いでした。

参加者の方の様々な背景や現場の話を聞き、働くことに前向きにもなれました。自分と近い年齢の方も多く、再就職への勇気にもなりました。

実習では、指導だけでなく現実的な相談も受けていただけ、就労までのイメージがより固まりました。何より、久しぶりに利用者さんと関わり、看護はやっぱり楽しいなぁ、と実感できました。

今は、ご縁もあり訪問看護ステーションで働いています。利用者さんにも自分にも無理のないよう、まずはパートタイムで。まだまだ力不足ですが、少しずつ利用者さんと関わりを深めて行くことは楽しく、これからも一人一人との関係を大切に頑張っていきたいと思います。

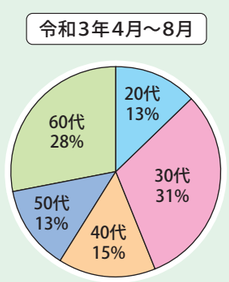
SHIGA! はたさぽ通信

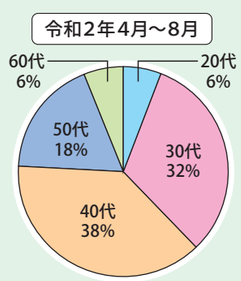
就業コーディネーター｜寺村 幸子

猛暑が過ぎ去るとともに、コロナ禍も落ち着きを見せてきました。コロナ禍で大変であったにもかかわらず、リスタートナースサポート研修の研修講師の派遣、現地実習の受け入れなどにご協力いただき感謝申し上げます。ハローワーク出張相談窓口に来られた方々の中からも研修に参加されています。就業コーディネーター支援員の皆さまと情報共有しながら看護職の復職支援につなげていきたいと思います。

右記の図では、令和2年度と令和3年度の4月～8月までにハローワーク出張相談窓口に来られている方の年齢の割合を表しています。昨年度は60歳代以上の方が6％でしたが、今年度では28%と定年後も働く意欲を持った方々が相談に来られています。令和3年4月から70歳定年制が努力義務化となりました。プラチナナースの働き方や働く場の提供など、皆さまとともに考え、支援していきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。





お問合せ先
●滋賀県ナースセンター TEL.077-564-9494 ／ FAX.077-562-8998
●彦根サテライト TEL.0749-30-1235 ／ FAX.0749-30-1233
●E-mail：shiga@nurse-center.net

詳細はホームページをご覧ください